

まっちゃんぐ

街 ing いばらき NEWS

No. 254

2024年

4月号

(毎月25日発行)

長谷川誠子

3月例会 議事録

日時： 令和6年3月5日(火) 14:00~16:00

場所： 阪田代表宅

出席者8名 阪田 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 清野 長谷川 牧

1. 4月3日(水) お花見を実施、行先京都植物園 9時30分阪急茨木市駅集合。参加者川本 河村 阪田 阪田悦子 佐藤 杉田 長谷川 牧 松岡の9名 パソコン6名 長谷川友人1名 計16名を予定。入園料200円、各自昼食につき1,000円の補助はなしとする。70歳以上の証明書を提示すれば植物園は無料。
2. 5月21日(火)に島本町散策を実施。定員14名、昼食は三笑亭の天婦羅御膳、地元の有名店。4~5ページに案内書を掲載しています。担当長谷川さん。申込締切り3/31
3. 6月の行事として6/14(金)に西宮界隈の散策を実施。詳細は4月に連絡します。
4. 3/2(土)テレビ大阪「おとな旅あるき旅」で茨木市商店街の紹介があった。
5. 街 ing コーナー3月号で紹介した「おにクル衝突防止シール」の報告
6. 今後の例会 4月例会なし 5/9(木) 6/6(木) 7/4(木)総会 8月なし
7. 会則第3条に、「例会は原則として第一木曜日(19時から21時頃迄)に開催する。」と記載されている。現状に合わせるため、(19時から21時頃迄)を削除する。
8. 会則第10条、「会費は年額2,000円(家族は1,000円)」のうち(家族は1,000円)を削除し、会費は一律2,000円とする。

いずれも総会で可決する。

以上



きゃぱす（市民活動センター）がおにクル7階にオープン

入交 享子

昨年11月26日、おにクル7階に移転した市民活動センター。おにクル来館者が50万人を突破し、下層階だけでなく、7階にも親子連れがたくさん来られる日常がやってきました。

私は「街ing いばらき」をはじめいろいろな登録団体に所属しながらも、市民活動センターがどのような役割を果たしているのか…何も知らずにいました。

図らずも3年前にこの職に就き……この施設の持つ役割を初めて知りました。

そこからあがくこと多々あり、今があります。

私のように市民活動センターを利用しながらも、その活用方法のすべてを知らなかった訳ですから…まずは、知ってもらうことから始めます。そして使ってもらわなくてはなりません。

多くの方に知ってもらい、使いたいと思ってもらえる魅力づくりと広報を、今もまだ、よりよくをめざして奮闘中です。

「居心地がいい」空間を創り出し、ちょっと寄っていかうか！と思える場づくりをしてまいります。

【きゃぱす day】では、活動の場の提供をし、市民の皆さんに活動を知ってもらう場として月2回実施してきました。

4月は「出会い」×市民活動！さくらを科学し（入交が担当いたします）、傾聴で出会いをサポートします。

5月は茨立 DAY にも出展します。

お出かけになりませんか？



きゃぱすってどんなところ？

人と人、人と活動、人とまちがつながるよう、市民活動をしている方やこれから活動を始めようとする方をサポートする施設です。だれもがともに楽しく生き生きと過ごすことができるよう、活動をサポートいたします。

きゃぱすの 5 つのサポート

- 1 活動に必要な施設・設備の提供
- 2 各種相談（専門相談員・コーディネーター）
- 3 活動を応援する学びの場を提供
- 4 情報の収集と提供
- 5 連携・交流を促進

市民活動コーディネーターがみなさんの「やってみよう！」を応援します。お気軽にお越しください！

きゃぱす
市民活動センター



きゃぱす day

【場所】市民交流スペース（おにクル7階）

【定員】各先着15名

4/7 (H)
10:00～15:30
予約申し込みあり

本席に付飲食のみ

茨木の桜を科学する

桜の咲き始めから満開の時期にかけてのさくらに、科学的アプローチから様々な角度から桜の魅力を学びたい方におすすめです。

■時間：10時～12時
■講師：入交 享子さん（きゃぱすセンター長）
■費用：300円（桜餅試食付き）

楽しい傾聴ボランティア講座

気軽に大人気な講座（おにクル7階）を行います。お気軽にご参加ください。

■時間：13時30分～15時30分
■講師：奈良千 勇子さん
（傾聴ボランティア「ユスケの島」代表）
■費用：無料

新生市民活動センターきゃばすは、団体登録制度がなくなり、個人でも活動をサポートいたしますので、ちょっとしたことでもやってみようと思われた皆さんは、是非きゃばすをお使いください。皆さんに使っていただいてこそその場所です！

「いや、そんなこと…何もないよ～」と言わずに、一緒にチクチク縫物しようとかお昼ご飯を一緒に食べようとか、もう少しスマホの使い方知りたいとか何でもあります。

申し込みもサポートいたしますので、下記参照の上きゃばすへGO！！



そんなのめんどくさいと思ったら、情報だけでも取ってみませんか？ 思いがけない出会いがあるかもしれません。スマホでQRコードを読み取ってみてください。

人生100年時代を楽しく豊かに歩きませんか？
 ご自身の家だけでなくおにクルを公共の家だと考えフル活用ください。
 皆さんの居場所がそこにあります。
 何も担わなくてもいいそんな場所でもあり自分の得意を伝え、不得手を助けてもらう場所でもあります。

きゃばすからのお知らせをInstagram、Facebook、公式LINEより随時配信しております。

フォロー、お友達登録お願いします！





@ibaraki_capas @ibaraki_capas @229mfsqx

きゃばす (茨木市市民活動センター)
 TEL: 072-625-8823

＜大山崎界限（自然・歴史・建築・美術）＞散策

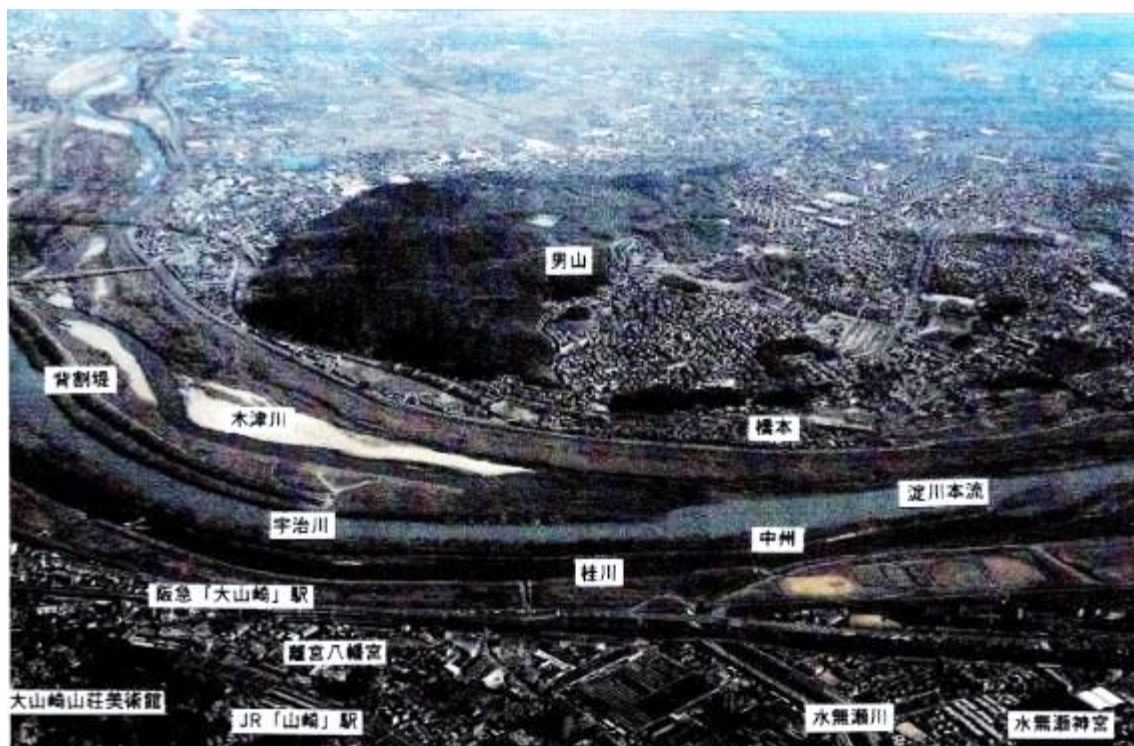
令和6年5月21日（火）

摂津（大阪府）と山城（京都府）の国境・大山崎は、桂川・宇治川・木津川が合流して京都盆地から大阪平野に流出する狭隘部に位置している。この地の北部には「山崎合戦」で知られる天王山があり、淀川対岸の石清水八幡宮が鎮座する男山と共に、古来交通・軍事上の要衝として知られる。

また、妙喜庵待庵（国宝）を筆頭に、離宮八幡宮・宝積寺・酒解神社・観音寺・山崎聖天などの古社寺が多く、また、昭和初期築造の英国風洋館・アサヒグループ大山崎山荘美術館や、昔年の環境共生住宅・聴竹居（重文）などの文化財にも恵まれている。

また、附近にはサントリー山崎蒸留所もあり、今では好事家たちの格好の散策路となっている。

水先案内人：牧 彰（会員）



桂川（手前）・宇治川（中央）・木津川（奥）の三川が合流して淀川となる珍しい地形であるが、実際は宇治川と木津川が合流した淀川本流に桂川が注いでいる二重構造の河川である。谷崎の『蘆刈』にある中州は、この淀川本流と桂川の間にあることがこれにより分かる。

- ◇参集地：JR「山崎」駅 11時30分
- ◇順路：「山崎」～妙喜庵～大山崎町歴史資料館～離宮八幡宮～三笑亭（13：00～14：00）～アサヒグループ大山崎山荘美術館～観音寺・山崎聖天～阪急「大山崎」（17時解散）
- ◇昼の宴：“三笑亭” 油の神様・離宮八幡宮の御神油で揚げる 150年の老舗天麩羅専門店
京都府乙訓郡大山崎町西谷1 ☎075 - 956 - 0217
天麩羅御膳（2800円＋サービス料10%）
- ◇入館料：アサヒグループ大山崎山荘美術館 900円・大山崎町歴史資料館 200円
- ◇定員：14名
- ◇その他：会員には、会より1000円の補助あり。
- ◇連絡先：「街ing いばらき」代表・阪田浩（080 - 1436 - 9881） 申込締切り3月31日（日）
Tel & Fax / 072 - 627 - 3480 E-mail : ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp
※本会行事は自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己責任でご対応ください。

◇利休好みの詫びの極致「妙喜庵待庵」

俳諧師・山崎宗鑑が隠棲した草庵を、後に禅宗寺院にした。山崎合戦の折に、秀吉が当庵を休憩所にあて、利休に命じて造らせたのが茶室・待庵といわれ、如庵・蜜庵と共に「国宝三茶室」に数えられる。

茶室は僅か二畳の広さであるが、床前・点前畳・躡り口に分けた室柱、壁に設けられた下地窓など、二畳の空間をこれほど見事に構成された事例はなく、草庵風茶室の完成形といわれている。

「大山崎町歴史資料館」では、「待庵」のレプリカを観賞する。

◇信貴山縁起絵巻（山崎の長者）で知られる「離宮八幡宮」

貞観元年（859）に大安寺の僧・行教が宇佐八幡宮を勧請した折、嵯峨天皇の離宮・河陽宮内の齋場に祀り、翌年男山に移して石清水八幡宮とした。室町時代に、その故地に八幡宮を改めて勧請した。古来武将の崇敬が篤く、平安末期から室町期には、“山崎の油座”として大いに栄える。

◇大正・昭和、そして平成の浪漫が奏でる「アサヒグループ大山崎山荘美術館」

天王山麓にあり、対岸の石清水八幡宮が鎮座する男山が迫り、脚下に三川合流を望む景勝地にある。財界人・加賀正太郎が、大正初期から四半世紀を掛けて増築を重ね、己の財力と感性の赴くままに創り上げた山荘を、平成になって「モネの睡蓮」を数点展示する新館を付加して美術館に改修した。

◇洛西の隠れ古寺「観音寺・山崎聖天」

天王山東中腹の平安中期創建の古寺。長く衰退していたが、江戸期に歓喜天を祀り寺運も興隆した。境内には桜・紅葉が多く、遠く笠置連山を望む洛西の隠れた景勝地である。



アサヒグループ大山崎山荘美術館

◇日本ウイスキーのふるさと「サントリー山崎蒸留所」

「日本人に愛されるウイスキーを！」鳥井信次郎が、本格的ウイスキー製造に着手したのが 1993 年。此処は水温の異なる三川が合流して、絶えず霧が沸く天王山麓。平野と盆地の湿潤な気候！そして、茶道を極めた利休の名水にも恵まれた山崎は、日本のウイスキー造りの理想郷です。

◇日本の環境共生住宅の原点「聴竹居」

20 世紀初頭、わが国が挙国一致で欧米を規範とする近代化路線に邁進する最中、建築家・藤井厚二は気候・風土に適応した住宅を実証するため、大山崎の自然豊かな環境に 5 棟の実験住宅を建てる。それらの集大成「聴竹居」には、和洋生活様式の統合や「自然と共生」する工夫が随所に施されている。「一見の価値あり」

なお、京都滞在中にテレビで偶々「聴竹居」を知って強く関心を持たれた上皇ご夫妻は、2013 年 6 月 24 日に「聴竹居」を視察されている。

絵画は老若男女誰でも楽しめます。楽しみ方には、「観て楽しむ」と「描いて楽しむ」の二つがありますが、私はどちらかと言えば「描いて楽しむ」方です。

ここで私なりの「絵画の楽しみ方」を整理してみました。

まずは「観て楽しむ方法」ですが、美術館などが主催する巨匠の作品展、一般団体の公募展、グループ展など観る機会は多いと思います。展示数が多いときは、一通り観てから自分の好きな作品を見つけて、もう一度好きな作品の前に立ち、ダイレクトに対話し、交感し、作品に対する自分の考えをシェアすることで感性が磨かれます。



もう少し具体的に言うと、まずビジュアルを楽しみ、作品の背景を考え、その裏にある背景やストーリーに広げると作品の理解が深まり、作者の思いや考えが垣間見え、作品をより身近に感じられるようになると思います。これにより、観る達人にもなれますし、また、私も一つ描いてみようとの気持ちが出て、絵画の楽しみ方が広がってくると思います。

絵を描いている人なら、構図、筆の動き、遠近の表し方、光の表現、背景など参考になることが多いと思いますので、よく観ておきましょう。

次に「描いて楽しむ方法」ですが、油彩、水彩、アクリル、パステル、ペン、鉛筆、墨彩などありますが、それぞれの特徴を確認して自分に合ったものを選択すればよいですね。

さて、絵画の基礎とは、観察力と考える力ではないでしょうか。絵画の基礎はデッサンにあり、そのデッサンに必要なものは観察力と観察して得たことを紙上やキャンバスに表現する力だと思います。観察をおろそかにしている人は良い絵が描けません。

ここで私が「描く楽しみ」の手順を観光地へ行った時を例にあげてたどってみます。

美しい風景を見たときに、写真もよいけど、絵にしたいなと思ったら、その場でスケッチ出来ればよいが、時間の都合もあり、カメラスケッチに数枚おさめることが多いです。描き起こす手順は①スケッチ写真からレイアウトを描く（主役をどこに置くか、主役を引き立てるわき役を何にするか決める）、②構図を決める（アイレベル＝目線）を意識してアタリをつけ（アタリを付けると自ずと考えるようになる）描き、構図全体のバランスを確認する。③光の方向を決める（影一つで立体感が得られる）④色塗り（使う色を大まかに決め、中間色を用いて塗る領域をうめる→奥から手前に（光の方向を意識）→遠くはやや淡く近くは濃く→仕上げる（全体を見て不足部分を描き直す。遠近は実際よりメリハリをつける方がよい。

このように描く楽しみは、100%の力で描いた絵は良い絵だといえます。上手な人も手抜き絵だと良い絵とはいえません。

思いつくまま書いてきましたが、美術鑑賞は、本来自由なものであり、難しく考えず、自分の見方で鑑賞したらよいと思います。より楽しく観たいならば、個性の現れた色彩、作品からのメッセージに触れることで感情が刺激されたり、感性が豊かになります。

ゴッホの描く目

中村幸子

ゴッホは、「ひまわり」などのすぐれた多数の絵画作品と、悲劇的な生涯についてよく知られた画家です。オランダで牧師の子として生まれプロテスタントの伝道師をしながらも、貧しい農村の人々を描き有名な「馬鈴薯を食べる人びと」を描きます。弟の世話を受けて、パリに出て印象派の画家と会い、作風に様々に影響を受けます。色彩も、オランダの時とは異なる色遣いで表現するようになり、たくさんの作品を描きました。アルルへ行き暖かい気候のもとで、日本のようだと、弟に書いて送っています。



ゴッホの絵画展は、日本でも 2023 年に開かれ、多くの方が行かれたことでしょう。私は、アムステルダムへ行った時にファン・ゴッホ美術館を訪れました。そのとき大きなスクリーンに彼の自画像が、映し出されていて、感動してその前へ行き写真を撮りました。ふと見ると、彼の目が、大きくスクリーンに映っています。キャンバスでは、小さくて気づかない眼球や瞼にたくさんの色が用いられて描きこまれています。目をこのように描いていることに驚愕しました。幸いその写真を撮ることができましたので、ご覧ください。ゴッホは 12 点近くの自画像を描いていましたから、どの自画像の目の拡大写真はわかりません。よく見ていただくと、多くの色を細い筆で目や、瞼に入れております。目がこのように表現されていることに感動しました。



ゴーガンと始めたアルルでの共同生活では耳切事件などがあり、ゴーガンはヨーロッパ脱出を試み、タヒチに移り住みます。

アルルの精神病院にいても、描き続け晩年の波打つようなタッチが、絵に表れ始めます。暖かいアルルを離れテオの住むパリ近くの小村、オーヴェール・シュル・オワーズに行き「鳥のいる麦畑」など、横に長いキャンバス（50.3×103 cm）に描きました。畑の中をさまよって自殺を図り、2日後に 37 歳で亡くなりました。兄の死後およそ 6 か月後に、弟のテオが死去し、兄弟ともに、オーヴェールの共同墓地に、並んで眠っています。二人の墓に詣で手を合わせると、炎の天才画家とその兄を支え続けた弟の愛の深さに胸がいっぱいになりました。

<参考>・世界美術全集 12 ゴッホ ・ファン・ゴッホ美術館 傑作選
・ゴッホの手紙 小林秀雄

次回のイベント

街歩き 4月3日(水) 京都植物園 9時30分阪急茨木市駅集合 17時頃解散

—— 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ——

日時： 令和6年5月9日(木) 14:00~16:00 4月の例会はありません。

場所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29

- 内容：
1. 4月3日(水)京都植物園の振り返り
 2. 5月21日(火)の島本町散策について
 3. 6月14日(金)の西宮散策 他



『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



« 編集後記 »

- 3月18日から30日までセンバツ高校野球が開催されます。「春はセンバツから」とも言われ毎年春の訪れを感じる時期です。街ingでは春のイベントとしてお花見、島本町や西宮散策を計画しています。「建物見学プラス昼食をちょっと贅沢に」路線は継続していきます。引き続きご参加ください。
- 街ingの行事は任意・自由参加です。事故・傷害などについては、自己責任で対応ください。街ingでは事故に対して、一切の責任を負いません。

« 編集・発行 »

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ingホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2024年3月現在での訪問者は10,170 <前月比20の増加> となっています。